

〔発言者〕 鎌田定夫

〔発言年月日〕 1969 年

〔生年、被爆地、職業など〕 1929 年生まれ。非被爆者、証言運動に参加。

〔内容〕

朝鮮人や中国人の被爆者に関する記事や資料、在日朝鮮人による記録等が、今回は収録の運びにまで至らなかったことです。これは「長崎の証言」発掘にあたって残された重要な課題のひとつとなるでしょう。

〔注〕

『長崎の証言』創刊号の編集後記より。1960 年代後半以降、長崎における被爆体験証言運動が始まったが、その当初から、外国人被爆者への眼差しがあったことが分かる。日本の侵略による外国の戦争被害が広く一般で認知されるようになるのは 1970 年代以降であるが、長崎の証言運動はそれまで被爆者と認識されることのなかった長崎の外国人被爆者の被爆体験を掘り起こす運動の先駆けともなった。

（『長崎の証言——戦争と原爆の体験を見つめ証言する長崎の声』「長崎の証言」刊行委員会編、1969 年所収）